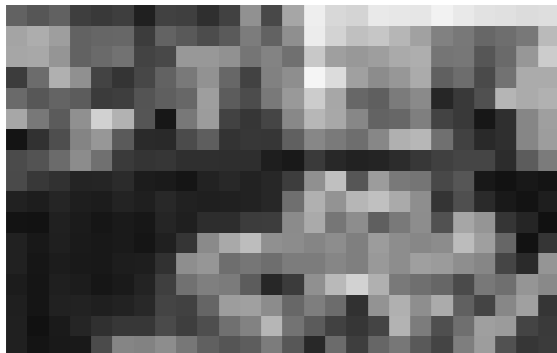


雨止み 青空広がる

5/14 お水迎え

北アルプスの雪解け水を迎え、その恵みを敬う「お水迎え」が5月14日、梓川・穂高川・高瀬川が合流する犀川河川敷で行われました。観光協会の黒岩千展筆頭副会長は「この水が緑の大地に潤いと活力を与えてくれる」とあいさつ。観光協会の役員など約20人がひしゃくで川の水をすくい、丁寧に水を「お迎え」しました。この日は朝からあいにくの雨でしたが、式が始まると青空が広がり、関係者を喜ばせました。



止まらない ポイ捨て

5/25 市内一斉清掃

市内一斉清掃作業が5月25日、市内各地域で行われました。この日は前日からの雨にもかかわらず、地域や企業などの呼びかけで大勢が参加し、身近な道路や河川、公園などに捨てられたごみを拾いました。ごみは、空き缶・ペットボトルなどが多く、中には家電やタイヤなどの粗大ゴミもありました。堀金の上堀区・環境部長の米倉満邦さんは、「本来資源になるごみも、落ちていたら可燃ごみと不燃ごみで処理するしかない。弁当の空き容器のポイ捨ても一向に減らない」と切実に話していました。

穂高が両部門で優勝

6/8 市消防団ポンプ操法大会

梅雨空から、真夏を思わせる太陽が照りつけた6月8日、市の消防団ポンプ操法大会が市内の王子チヨダコンテナ（株）敷地で実施されました。

この日はポンプ車操法の部に8チーム、小型ポンプ操法の部に9チームが参加し、仕事の傍ら練習に励んできた選手の皆さんが、操作の迅速さ・正確さを競い合いました。

ポンプ車操法の部は、第11分団第2部（穂高）が優勝し、第13分団第3部（堀金）が準優勝、小型ポンプ操法の部は第9分団第1部（穂高）が優勝、第8分団（明科）が準優勝となり、それぞれ6月29日に麻績村で開催される、松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会へ出場します。

小型ポンプ操法の部優勝の第9分団第1部指揮者の浅川哲弘さんは、「ここまで体をだいぶ酷使して練習してきているので、少し疲れをとって、もう一度基本から練習を始め、次の大会へ望みたい」と決意を話しました。



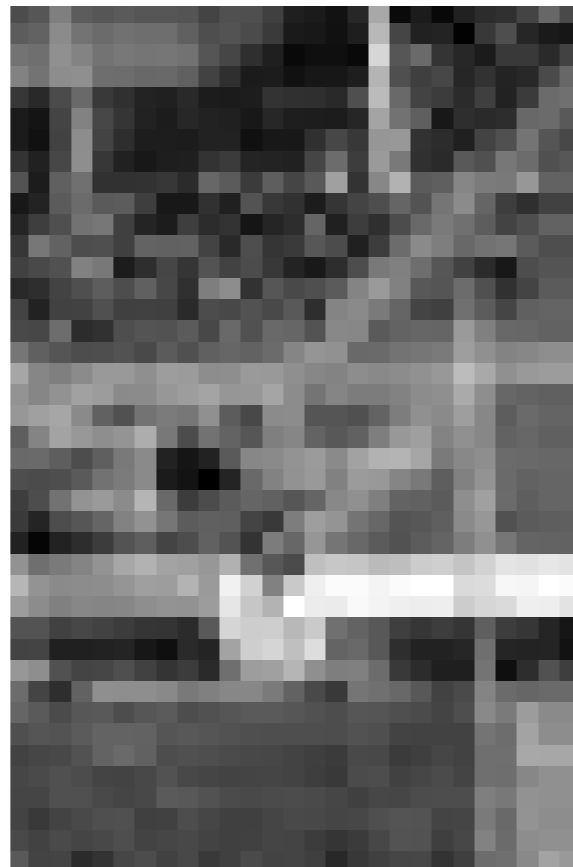
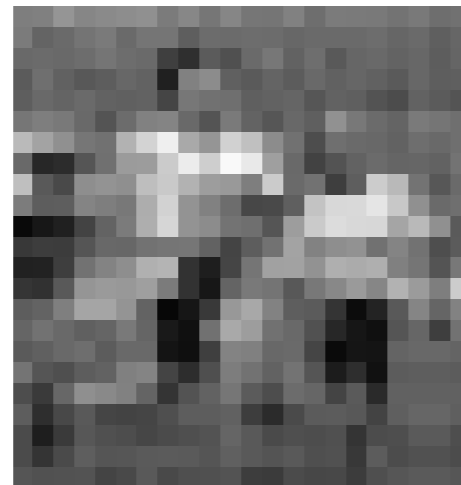
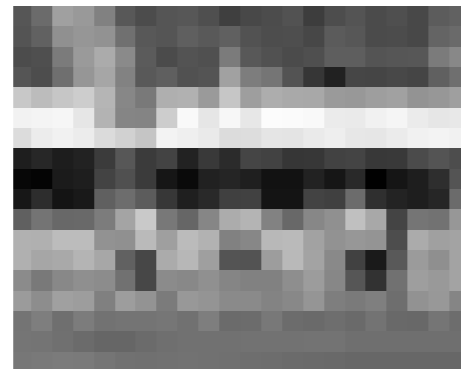
11件の記録更新

5/25 市小・中学生陸上競技大会

第5回安曇野市小・中学生陸上競技大会が5月25日、松本平広域公園陸上競技場で開かれました。

出場したのは、市内の全小中学校の選手や陸上部員など555人で、参加人数は、昨年より50人ほど上回りました。応援に駆けつけた保護者やチームメイトからは熱心な声援が送られていました。

この日は、朝は小雨がばらついていましたが、その後持ち直し、11の大会新記録が生み出されました。

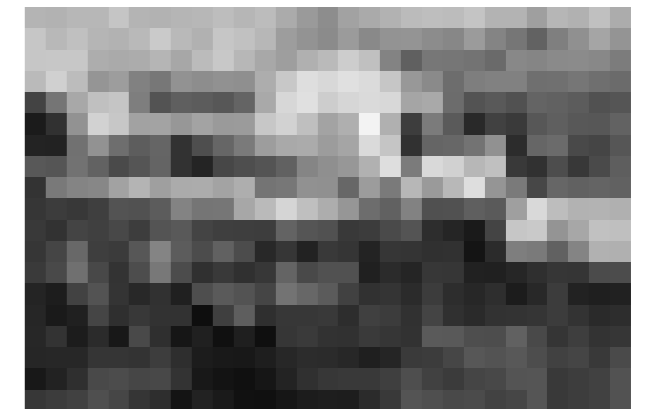


秋の収穫が楽しみ

5/25 りんごの木のオーナー開園式

りんごの木のオーナー開園式が5月25日、三郷公民館で行われ、21の農園が、オーナー約1,300人を受け入れました。この制度は、りんごの木1本につき、年間2万円でオーナーとなるもので、通常の管理は園主が行いますが、秋にはもぎとり体験が行えるというものです。初めて申し込んだという愛知県の女性は、園主のアドバイスを聞いて自分の木を選ぶと、「秋の収穫はもちろん楽しみですが、できれば途中の手入れにも来てみたい」と話しました。

りんごの種類は「サンふじ」で、収穫後の保存がきくことから、一人で何本もの木のオーナーになる人もいました。



バラ色に染まる庭園

5/31～ 豊科近代美術館 バラ祭り

毎年恒例のバラ祭りが5月31日から6月8日まで安曇野市豊科近代美術館で開かれました。快晴に恵まれた6月1日には多くの人々が訪れ、色とりどりの花を写真に収めたり、香りを楽しんだりしていました。庭園の約500種800本のバラは、同館友の会が手入れを行っており、平成18年には国土交通大臣表彰が贈られました。

会員が丹精込めて育てたこれらのバラは、今月末まで楽しめそうです。